

○ 重篤な肝機能障害時に禁忌となる薬剤について

薬物は体内で「吸収、分布、代謝、排泄」の過程を経ます。腎機能が低下している場合においては、薬物の排泄が遅延し薬効増強が引き起こされるため、腎機能値に応じ薬物の投与量を減量する必要性が認識されています。しかし、肝機能障害時の代謝不全に伴う薬物の投与量減量の必要性については、腎機能低下時のように明確な数値での評価が困難であるためか、あまり認識されていないのが現状です。

そこで今回、重篤な肝機能障害時に禁忌となる薬剤について以下に紹介いたします。

1.肝機能障害の評価について

肝機能障害とは何らかの原因で肝臓が障害を受け炎症が起こり、肝細胞が破壊されるため、血液検査で主にAST、ALT、 γ -GTP、ALP、総ビリルビン等が高くなり数値が高いほどその障害の程度は高度となります。(表 1)

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれるように障害を受けた初期には自覚症状はほとんど現れず健康診断等で異常を指摘されることが多いのが現状です。

肝機能障害は、急性ウイルス性肝炎や薬剤性肝炎の急性肝機能障害と、その他の慢性肝機能障害に分けられます。慢性肝機能障害は、B型・C型肝炎ウイルスによる慢性肝炎、アルコール性肝炎、脂肪性肝炎、自己免疫性肝炎があり、炎症の継続にて肝臓に線維化が生じ肝硬変となります。肝硬変は高率で肝臓がんを合併すると言われており、継続的な肝機能障害の評価は重要と考えられます。

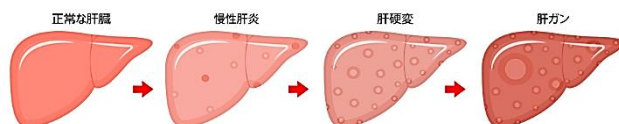


表 1) 肝機能関連検査項目一覧

検査項目	当院基準値	単位	検査からわかること
AST	13~30	U/L	肝および胆道疾患、急性肝炎、急性心筋梗塞などの疾患で上昇します。
ALT	男性 10~42 女性 7~23	U/L	肝硬変、脂肪肝、急性肝炎などの疾患で上昇します。
ALP	38~113	U/L	肝および胆道系疾患などで上昇します。
γ -GTP	男性 13~64 女性 9~32	U/L	閉塞性黄疸、肝癌、アルコール性肝障害などの疾患で上昇します。
総 ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・閉塞性黄疸・胆汁うっ滞性黄疸・溶血性貧血・体質性黄疸などで高値になります。

急性肝機能障害の中の「薬剤性肝炎」に対する評価方法に、「CTCAE (有害事象共通用語基準)」があり、抗癌剤等の薬物投与時における肝機能障害の重症度評価に汎用されています。重症度は、Grade1(軽度)、Grade2(中等度)、Grade3(重症)、Grade4(生命を脅かす)の「4段階」で評価されます。(表 2)

表 2 CTCAEver.5.0 における肝機能障害関連事象のグレード一覧【一部改変】

項目	ベースライン	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4
		軽度	中等度	重症	生命を脅かす
AST	基準範囲内	>ULN~3.0×ULN 31-90	>3.0~5.0×ULN 91-150	>5.0~20.0×ULN 151-600	>20.0×ULN >600
	異常値	>1.5~3.0×ベースライン	>3.0~5.0×ベースライン	>5.0~20.0×ベースライン	>20.0×ベースライン
ALT	基準範囲内	>ULN~3.0×ULN 男性:43-126 女性:24-69	>3.0~5.0×ULN 男性:127-210 女性:70-115	>5.0~20.0×ULN 男性:211-840 女性:116-460	>20.0×ULN 男性:>840 女性:>460
	異常値	>1.5~3.0×ベースライン	>3.0~5.0×ベースライン	>5.0~20.0×ベースライン	>20.0×ベースライン
ALP	基準範囲内	>ULN~2.5×ULN 114-282.5	>2.5~5.0×ULN 283-565	>5.0~20.0×ULN 566-2,260	>20.0×ULN >2,261
	異常値	>2.0~2.5×ベースライン	>2.5~5.0×ベースライン	>5.0~20.0×ベースライン	>20.0×ベースライン
T-bil	基準範囲内	>ULN~1.5×ULN 1.6-2.25	>1.5~3.0×ULN 2.26-4.50	>3.0~10.0×ULN 4.51-15.0	>10.0×ULN >15.0
	異常値	>1.0~1.5×ベースライン	>1.5~3.0×ベースライン	>3.0~10.0×ベースライン	>10.0×ベースライン

ULN:基準範囲上限 太文字は当院での基準値を基に算出した値

また、「肝予備能」に対する評価方法は、一般的に「Child-Pugh 分類」(表 3)が用いられ、治療方針を決める上で重要となります。

表 3 Child-Pugh 分類

項目	スコア (ポイント)		
	1	2	3
肝性脳症	なし	1,2 度(軽度)	3,4 度 (時々昏睡)
腹水	なし	少量	中等度
血清ビリルビン値 (mg/dL)	<2	2~3	>3
血清アルブミン値 (g/dL)	>3.5	2.8~3.5	<2.8
プロトロンビン時間 (いずれかの指標で評価)	延長時間(秒)	<4	4~6
	活性値(%)	>70	40~70
	INR	<1.7	1.7~2.3

【各項目のスコア合計値による肝機能障害の重症度分類】

5~6:分類 A (軽度) 7~9:分類 B (中等度) 10~15:分類 C (重度)

日本肝癌研究会編「臨床・病理 原発性肝癌取り扱い規約 第 5 版【補訂版】

「Child-Pugh 分類」以外の評価方法は、「ALBI グレード」があります。「ALBI グレード」は、統計学的手法をもとにアルブミンと総ビリルビンのわずか2つの一般的な採血項目を $(\log_{10}(17.1 \times \text{血清ビリルビン値}[\text{mg/dL}]) \times 0.66) + (10 \times \text{血清アルブミン値}[\text{g/dL}] \times -0.085)$ の計算式で算出し、グレードが低いほど肝予備能は良好と判断します。

近年では、「ALBI グレード」の中間グレード(グレード 2)のカバー範囲が広いため、統計学的に求められた値 ALBI スコア -2.27 で 2 つのサブグレードに分けて 4 段階評価 (1, 2a, 2b, 3)とした modified ALBI (mALBI)グレードが提唱されて分子標的治療の分野で使用されるようになってきています。(表 4)

表 4 ALBI グレード

ALBI grade	Grade1 : ≤ -2.60
	Grade2 : > -2.60 to ≤ -1.39
	Grade3 : > -1.39

mALBI grade	Grade1 : ≤ -2.60
	Grade2a : > -2.60 to ≤ -2.27 以下
	Grade2b : > -2.27 to ≤ -1.39 以下
	Grade3 : > 1.39

日本肝癌研究会編「臨床・病理 原発性肝癌取り扱い規約 第 6 版 [補訂版]

2019 Hiraoka A, Kumada T. Liver Cancer 2017/Liver Cancer 2019

2. 肝障害時に禁忌となる薬剤について

添付文書での肝障害に関する禁忌表現は、「肝障害」・「肝機能障害」・「高度の肝障害」・「重篤な肝障害」・「重度の肝機能障害患者 (Child-Pugh 分類 C)」等と様々であり、具体的な重症度分類の記載がない場合には判断に迷うこととなります。その様な場合には、前述の肝機能障害の評価方法を参考に禁忌対象か否かの判断を行うことで薬剤の適正使用と、患者の不利益回避に繋がると考えます。下記に肝機能障害時に禁忌(原則禁忌は除く含まず)となる当院採用の主な薬剤一覧(表 5)を記載いたします。

表 5 肝機能障害時に禁忌となる当院採用の主な薬剤一覧

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
アグリリンカプセル 0.5mg	重度の肝機能障害のある患者	院外専用
アジレクト錠 1mg	中等度以上の肝機能障害 (Child-Pugh 分類 B 又は C) のある患者	
アスピリン	重篤な肝障害のある患者	
アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg	重篤な肝障害のある患者	
アセトアミノフェン錠 200mg	重篤な肝障害のある患者	
アセトアミノフェンドライシロップ 40%	重篤な肝障害のある患者	
アセリオ静注液 1,000mg バッグ	重篤な肝障害のある患者	
アゾセミド錠 60mg	肝性昏睡の患者	
アデムバス錠 0.5mg	重度の肝機能障害 (Child-Pugh 分類 C) のある患者	臨時採用薬
アドシルカ錠 20mg	重度の肝障害のある患者	臨時採用薬

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
アトルバスタチン OD 錠 10mg	肝代謝能が低下していると考えられる以下のような患者 急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸	
アベロックス錠 400mg	重度の肝障害のある患者	呼内限定
アボネックス筋注 30 µg ペン	非代償性肝疾患の患者 自己免疫性肝炎の患者	臨時採用薬
アボネックス筋注用シリンジ 30 µg	非代償性肝疾患の患者 自己免疫性肝炎の患者	院内専用
アミゼット B 輸液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
アルドメッド錠 250mg	急性肝炎、慢性肝炎・肝硬変の活動期の患者	臨時採用薬
アンジュ 28 錠	重篤な肝障害のある患者	産科限定
アンヒバ坐剤小児用 100mg	重篤な肝機能障害のある患者	
アンベック坐剤 10mg	重篤な肝機能障害のある患者	
アンベック注 200mg	重篤な肝障害のある患者	
イグザレルト OD 錠 10mg	中等度以上の肝障害(Child-Pugh 分類 B 又は C に相当)のある患者	
イグザレルト OD 錠 15mg	中等度以上の肝障害(Child-Pugh 分類 B 又は C に相当)のある患者	院外専用
イグザレルト錠 2.5mg	中等度以上の肝障害(Child-Pugh 分類 B 又は C に相当)のある患者	
イグラモチド錠 25mg	重篤な肝障害のある患者	
イスコチン注 100mg	重篤な肝障害のある患者	
イスコチン錠 100mg	重篤な肝障害のある患者	
イダマイシン静注用 5mg	重篤な肝障害のある患者	
イトラコナゾール内用液 1%	重篤な肝疾患の現症、既往歴のある患者	
イトリゾールカプセル 50	重篤な肝疾患の現症、既往歴のある患者	
イニシンク配合錠	重度の肝機能障害のある患者	院外専用
イノラス配合経腸用液	高度の肝・腎障害のある患者	
イミグラン点鼻液	重篤な肝機能障害を有する患者	臨時採用薬
イムブルピカカプセル 140mg	中等度以上の肝機能障害のある患者	臨時採用薬
イントラリポス輸液 20% 50mL・250mL	重篤な肝障害のある患者	
インフリーS カプセル 200mg	重篤な肝機能障害のある患者	院外専用
ヴォリブリス錠 2.5mg	重度の肝障害のある患者	臨時採用薬
ウブトラピ錠 0.2mg	重度の肝障害患者	臨時採用薬
ウルソデオキシコール酸塩錠 100mg	劇症肝炎の患者	
エクフィナ錠 50mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	
エスエーワン配合 OD 錠 T20・T25	重篤な肝障害のある患者	
SG 配合顆粒	重篤な肝障害のある患者	
エストラサイトカプセル 156.7mg	重篤な肝障害のある患者	
エストラーナテープ 0.72mg	重篤な肝障害のある患者	
エストラーナテープ 0.09mg・0.18mg・0.36mg	重篤な肝障害のある患者	臨時採用薬
エストリール錠 1mg	重篤な肝障害のある患者	

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
エゼチミブ錠 10mg	本剤と HMG-CoA 還元酵素阻害剤を併用する場合、重篤な肝機能障害のある患者	
エトドラク錠 200mg	重篤な肝障害のある患者	
エドルミズ錠 50mg	中等度以上の肝機能障害(Child-Pugh 分類 B 又は C)のある患者	
エネーボ配合経腸用液	高度の肝・腎障害のある患者	
エリキユース錠 2.5mg	血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者	
エリキユース錠 5mg	血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者	院外専用
エルネオパNF1 号輸液	重篤な肝障害のある患者	院外専用
エルネオパNF2 号輸液	重篤な肝障害のある患者	院外専用
エンレスト錠 100mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	
エンレスト錠 200mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	院外専用
オダイン錠 125mg	肝障害のある患者	臨時採用薬
オブスミット錠 10mg	重度の肝障害のある患者	臨時採用薬
オブソ内服液 5mg・10mg	重篤な肝障害のある患者	
オンジェンティス錠 25mg	重度肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	
カデュエット配合錠 4 番	肝代謝機能が低下していると考えられる以下のような患者 急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸	院外専用
クリアミン配合錠 A1.0	肝又は腎機能障害のある患者	臨時採用薬
グリミクロン錠 40mg	重篤な肝又は腎機能障害のある患者	
グリメピリド錠 1mg	重篤な肝又は腎機能障害のある患者	
グルトパ注 600 万	重篤な肝障害のある患者	
クロミッド錠 50mg	肝障害又は肝疾患のある患者	
ケレンディア錠 10mg・20mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	腎内・循内・ 内分泌内科限定
コセルゴカプセル 10mg・25mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	臨時採用薬
コデインリン酸塩散 1%	重篤な肝機能障害のある患者	
コララン錠 2.5mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	臨時採用薬
コルヒチン錠 0.5mg	肝臓又は腎臓に障害のある患者で、肝代謝酵素 CYP3A4 を強く 阻害する薬剤又は P 糖蛋白を阻害する薬剤を服用中の患者	
ザイティガ錠 250mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	
サイバインコ錠 100mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類 C)のある患者	臨時採用薬
ザガーロカプセル 0.5mg	重度の肝機能障害のある患者	院外専用
サノレックス錠 0.5mg	重症の腎・肝障害のある患者	臨時採用薬
サムスカ OD 錠 30mg	常染色体優性多発性のう胞腎の場合 慢性肝炎、薬剤性肝機能障害等の肝機能障害(常染色体優性多発性の う胞腎に合併する肝のう胞を除く)又はその既往歴のある患者	腎内限定
ザルティア錠 5mg	重度の肝障害のある患者	泌尿器科限定/ 院外専用

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
ジェブタナ点滴静注 60mg	肝機能障害を有する患者	臨時採用薬
ジクロフェナク Na 錠 25mg	重篤な肝機能障害のある患者	
ジクロフェナクナトリウム坐剤 12.5mg・25mg・50mg	重篤な肝障害のある患者	
ジセラカ錠 100mg	重度の肝機能障害を有する患者	
ツムラ小柴胡湯エキス顆粒	肝硬変、肝癌の患者、慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が 10万/mm ³ 以下の患者	
セララ錠 50mg	重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類クラス C の肝硬変に相当)のある 患者	
ゼルヤンツ錠 5mg	重度の肝機能障害を有する患者	臨時採用薬
セレコキシブ錠 100mg	重篤な肝障害のある患者	
セレニカ R 顆粒	重篤な肝障害のある患者	
ソランタール錠 100mg	重篤な肝障害のある患者	
ソリフェナシンコハク酸塩錠 2.5mg	重度の肝機能障害患者(Child-Pugh 分類 C)	
ゾルピデム酒石酸塩錠 5mg	重篤な肝障害のある患者	
ダイアモックス注射用 500mg	肝硬変等の進行した肝疾患又は高度の肝機能障害のある患者	
ダイアモックス錠 250mg	肝硬変等の進行した肝疾患又は高度の肝機能障害のある患者	
タルグレチンカプセル 75mg	重度の肝障害のある患者	臨時採用薬
ダントリウムカプセル 25mg	肝疾患のある患者	
チガソンカプセル 10mg	肝障害のある患者	
チクロピジン塩酸塩錠 100mg	重篤な肝障害のある患者	
チザニジン錠 1mg	重篤な肝障害のある患者	
注射用メソトレキセート 5mg・50mg	肝障害のある患者	
ツインライン NF 配合経腸用液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
デエビゴ錠 5mg	重度の肝機能障害のある患者	
デュタステリドカプセル 0.5mgAV	重度の肝機能障害のある患者	
デュファストン錠	重篤な肝障害・肝疾患のある患者	
デュロキセチンカプセル 20mg	高度の肝機能障害のある患者	
テルミサルタン錠 40mg	胆汁の分泌が極めて悪い患者又は重篤な肝障害のある患者	
トビエース錠 4mg	重度の肝障害のある患者(Child-Pugh 分類 C)	院外専用
トラクリア錠 62.5mg	中等度あるいは重度の肝障害のある患者	
トラセミド OD 錠 8mg	肝性昏睡の患者	
トラムセット配合錠	重篤な肝障害のある患者	院外専用
トリーメク配合錠	重度の肝障害患者	臨時採用薬
トルバプタン OD 錠 7.5mg	適切な水分補給が困難な肝性脳症の患者	
ナポール SR カプセル 37.5mg	重篤な肝機能障害のある患者	
ニコランジル点滴静注用 12mg	重篤な肝・腎機能障害のある患者	循内限定
ニコランジル点滴静注用 48mg	重篤な肝・腎機能障害のある患者	

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
ニトプロ持続静注液	重篤な肝機能障害のある患者	心外・血外・循内・ 麻酔科限定
ネオアミュー輸液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
ノウリアスト錠 20mg	重度の肝障害のある患者	
バイアグラ錠 50mg	重度の肝機能障害のある患者	泌尿器科限定/ 院外専用
ハイカリック RF 輸液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
バルプロ酸ナトリウム細粒 40%	重篤な肝障害のある患者	
バルプロ酸ナトリウム徐放錠 A100・A200	重篤な肝障害のある患者	
バルプロ酸ナトリウムシロップ 5%	重篤な肝障害のある患者	
パルモディア錠 0.1mg	重篤な肝障害、Child-Pugh 分類 B 又は C の肝硬変のある患者 あるいは胆道閉塞のある患者	
PL 配合顆粒	重篤な肝障害のある患者	
ピオグリタゾン錠 15mg	重篤な肝機能障害のある患者	
ヒスロン H 錠 200mg	重篤な肝障害のある患者	
ピタバスタチン Ca・OD 錠 2mg	重篤な肝障害又は胆道閉塞のある患者	
ビーフリード輸液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
ビムパット錠 50mg	重度の肝機能障害のある患者	
ビムパット点滴静注 100mg	重度の肝機能障害のある患者	臨時採用薬
ビムパットドライシロップ 10%	重度の肝機能障害のある患者	臨時採用薬
ピラマイド原末	肝障害のある患者	
フィコンパ錠 2mg	重度の肝機能障害のある患者	
フィコンパ錠 4mg	重度の肝機能障害のある患者	院外専用
フェジン静注 40mg	重篤な肝障害のある患者	
プラノバル配合錠	重篤な肝障害のある患者	
フルオレサイト静注 500mg	肝硬変の患者	
フルカリック1号 ・2号輸液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
プレアミン P 注射液	肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者	
プレマリン錠 0.625mg	重篤な肝障害のある患者	
プレミネント配合錠 LD	重篤な肝機能障害のある患者	院外専用
プロスタール錠 25mg	重篤な肝障害・肝疾患のある患者	
フロセミド錠 20mg・40mg	肝性昏睡の患者	
プロベラ錠 2.5mg	重篤な肝障害・肝疾患のある患者	
フロベン顆粒 8%	重篤な肝障害のある患者	
ベサノイドカプセル 10mg	肝障害のある患者	臨時採用薬
ベタニス錠 25mg	重度の肝機能障害患者 (Child-Pugh スコア 10 以上)	

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
ベタフェロン皮下注用 960 万国単位	非代償性肝疾患の患者 自己免疫性肝炎の患者	院内専用
ベンズブロマロン錠 50mg	肝障害のある患者	
ペンタサ顆粒 94%(1000mg/包)	重篤な肝障害のある患者	
ペンタサ顆粒 94%(2000mg/包)	重篤な肝障害のある患者	院外専用
ペンタサ坐剤 1g	重篤な肝障害のある患者	
ペンタサ注腸 1g	重篤な肝障害のある患者	
ポンタールシロップ 3.25%	重篤な肝機能障害のある患者	
マヴィレット配合錠	重度 (Child-Pugh 分類 C) の肝機能障害のある患者	
マクサルト RPD 錠 10mg	重度の肝機能障害を有する患者	
ミカムロ配合錠 AP	胆汁分泌が極めて悪い患者又は重篤な肝障害のある患者	院外専用
ミコンビ配合錠 AP・BP	胆汁分泌が極めて悪い患者又は重篤な肝障害のある患者	院外専用
ミレーナ 52mg	重篤な肝障害のある患者	
メサラジン徐放錠 250mg	重篤な肝障害のある患者	
メサラジン腸溶錠 400mg	重篤な肝障害のある患者	
メソトレキセート錠 2.5mg	肝障害のある患者	臨時採用薬
メソトレキセート点滴静注液 200mg	肝障害のある患者	
メトジェクト皮下注シリンジ 7.5mg・ 10mg・12.5mg・15mg	慢性肝疾患のある患者	臨時採用薬
メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT	重度の肝機能障害のある患者	
メノエイドコンビパッチ	重篤な肝障害のある患者	
モルヒネ塩酸塩水和物原末	重篤な肝障害のある患者	
モルヒネ塩酸塩注射液 10mg/1mL・50mL/5mL	重篤な肝障害のある患者	
ヤーズフレックス配合錠	重篤な肝障害のある患者	院外専用
ラコール NF 配合経腸用半固形剤	高度の肝・腎障害のある患者	
ラコール NF 配合経腸液	高度の肝・腎障害のある患者	
ラシックス注 20mg	肝性昏睡の患者	
ラミシール錠 125mmg	重篤な肝障害のある患者	
ラメルテオン錠 8mg	高度な肝機能障害のある患者	
リアルダ錠 1200mg	重篤な肝障害のある患者	
リクシアナ OD 錠 30mg	〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制〉 凝血異常を伴う肝疾患の患者	
リクシアナ OD 錠 60mg	〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制〉 凝血異常を伴う肝疾患の患者	院外専用
リファンピシカプセル 150mg	胆道閉塞又は重篤な肝障害のある患者	

薬剤名	添付文書「禁忌」項目の記載内容	採用状況 (空欄は正規採用薬)
リットーロカプセル 50mg	重度の肝機能障害(Child Pugh 分類 C)のある患者	臨時採用薬
リルゾール錠 50mg	重篤な肝機能障害のある患者	
リンヴォック錠 15mg	重度の肝機能障害を有する患者	
リンヴォック錠 7.5mg	重度の肝機能障害を有する患者	臨時採用薬
ル・エストロジェル 0.06%	重篤な肝障害のある患者	院外専用
ルナベル配合錠 ULD	重篤な肝障害のある患者 肝腫瘍のある患者	
レバチオ錠 20mg	重度の肝機能障害のある患者(Child-Pugh Class C)	臨時採用薬
レペタン注 0.2mg	重篤な肝機能障害のある患者	
レベトールカプセル 200mg	重篤な肝機能障害患者	臨時採用薬
レボノルゲストレル錠 1.5mg	重篤な肝障害のある患者	
ロキソプロフェン Na 錠 60mg	重篤な肝障害のある患者	
ロコアテープ	重篤な肝機能障害のある患者	膠原病内科・ 整形外科限定/ 院外専用
ロサルタンカリウム錠 25mg	重篤な肝障害のある患者	
ロサルタンカリウム錠 50mg	重篤な肝障害のある患者	院外専用
ロスバスタチン OD 錠 2.5mg	肝機能が低下していると考えられる以下のような患者 急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸	
ロピオン静注 50mg	重篤な肝障害のある患者	
ロルカム錠 4mg	重篤な肝機能障害のある患者	院外専用
ワーファリン錠 0.5mg	重篤な肝障害のある患者	心外・血外・循内・ 神内・小児科限定
ワーファリン錠 1mg	重篤な肝障害のある患者	
ワーファリン錠 5mg	重篤な肝障害のある患者	心外・血外限定

<参考文献>

日本肝癌研究会編「臨床・病理 原発性肝癌取り扱い規約 第6版 [補訂版]

2019 Hiraoka A, Kumada T. Liver Cancer 2017/Liver Cancer 2019

CTCAEver.5.0

日扇会第一病院 消化器コラム

医療法人 誠恵会 野中内科 ホームページ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 肝炎情報センター ホームページ

一宮市立市民病院 医療技術局 臨床検査科作成「検査からわかること」・「血液検査の見方」

各種薬剤添付文書

より加筆・